

景観配慮協議申出書

令和4年5月2日

(宛先) 鎌倉市長

住所 鎌倉市大船三丁目2番15号 プロシード East II 3F

届出者 氏名 株式会社ディーコープ 代表取締役 森山桂多

電話 0467-42-1739

住所 神奈川県太和市林間一丁目3番5号

代理人 氏名 株式会社エドケン 代表取締役社長 山際賢次

電話 046-277-9520



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおお申出申出ます

土地利用類型 の 名 称	住商複合地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	神奈川県大和市林間一丁目3番5号	
	氏 名	株式会社エドケン 塩田康行	電話 046-277-9520
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市大船一丁目336番85	
	用 途 地 域	商業地域	防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input checked="" type="checkbox"/> その他(第4種高度地区)	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	2022年7月15日	完了予定 2023年2月28日

(裏)

建築物の概要	用途	テナントビル			
	最高の高さ	19.28m	階数	地上 6 階 地下 - 階	
	構造	鉄骨造			
	敷地面積	119.03m ²			
	建築面積	94.55m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 94.55m ²
	延べ面積	498.37m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 498.37m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input checked="" type="checkbox"/> その他 キュービクル 2.6m			
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
仕上材	屋根	改良アスファルトシート 防水+押えコンクリート	色彩	屋根	灰色 (7.5Y6.0/1.0)
	外壁	①エスケー化研 木目調シート 外壁材 グラニビエーレ ②エスケー化研 装飾仕上塗材 サンドエレガント ③ALC塗装		外壁	①グラニビエーレ：茶色 (2.0Y7.3/2.0) ②サンドエレガント：紺色 (7.5PB3.9/0.2) ③茶色 (2.0Y7.3/2.0)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	生活型住商複合地にふさわしい、適度な賑わいのある街並み
まち並みの連続性	極端に派手な外壁色、装飾のない街並み
周辺建物のデザイン	白系、茶系をベースとした外壁色
眺 望 景 観	湘南モノレールからの景観に配慮した、中層建築物主体の街並み
景 観 資 源	特になし。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	前面道路の歩道部分（まちづくり空地）の確保に努め、バランスの取れた配置計画とした。
形 態 意 匠	○	周辺建物との連続性を失わない意匠、軒線等との協調を意識した計画とした。
色 彩	◎	色彩は基準範囲内とし、光沢や反射性のある素材は避けた。
建 築 設 備	◎	屋外階段、建築設備、その他工作物等は建築物と一体化するデザインとした。
外 構 緑 化	○	隣地境界エリアを中心に緑化を行い、外壁材との調和性も考慮した。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		